

IX 「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における 到着前申請に対する自動起動化

関連省庁案件：動物検疫関連業務

平成27年3月20日

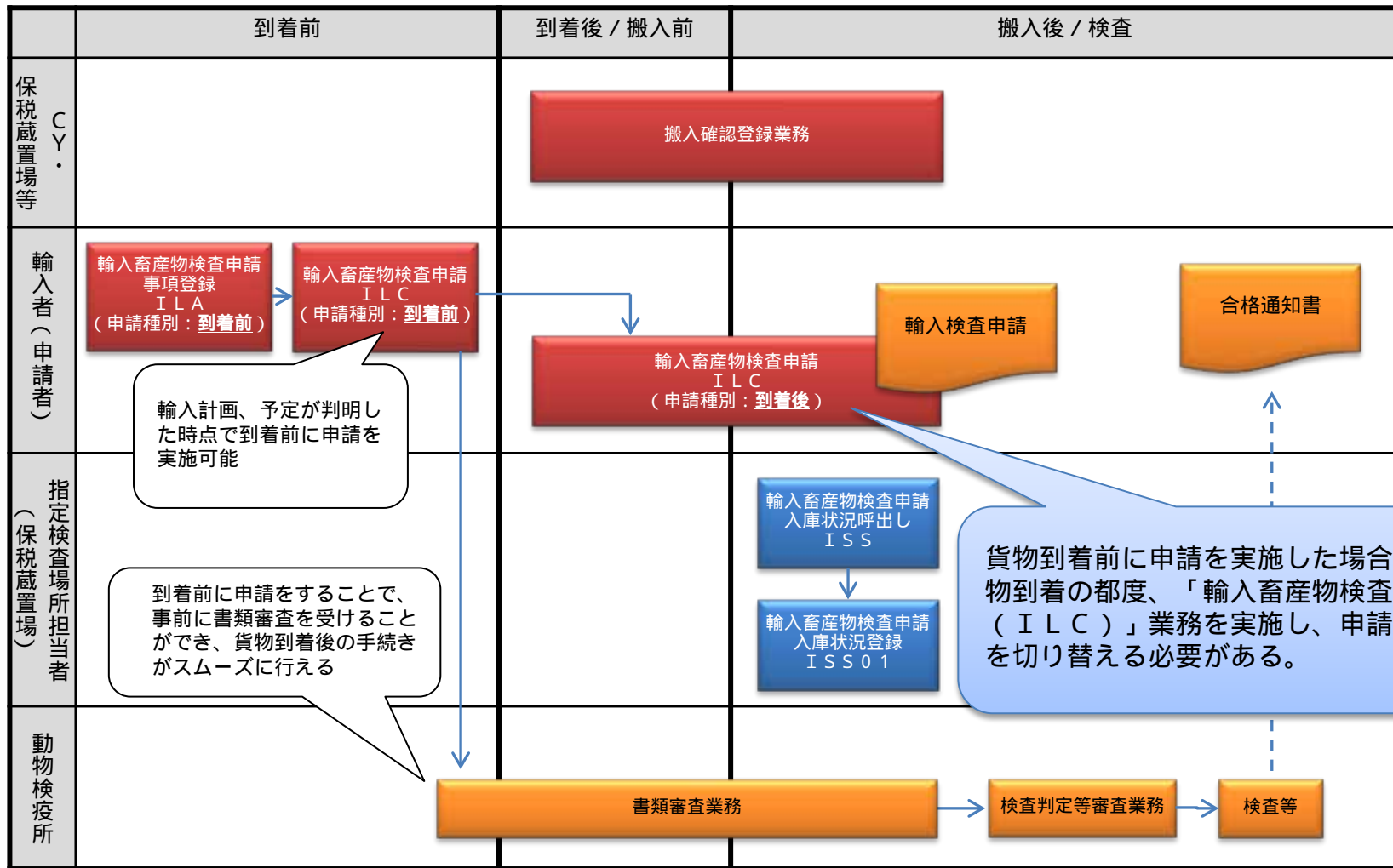
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



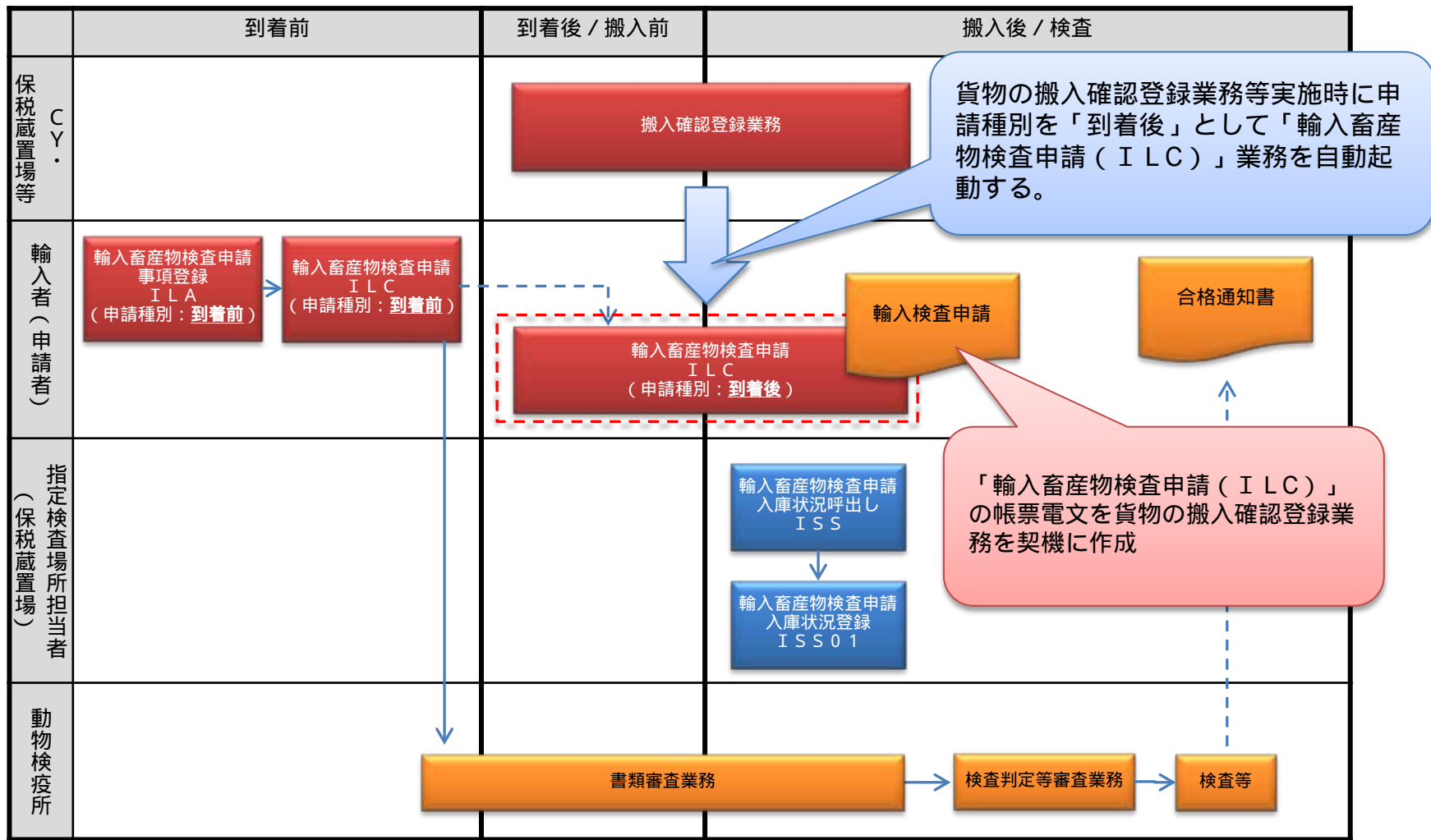
1. プログラム変更の概要

区分	概要
1. 検討項目	「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における到着前申請に対する自動起動化
2. 変更要望	<p>「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務において、貨物到着前に申請（申請種別：到着前）を行った場合に、予備申告（Z）のように、貨物の搬入確認登録業務（対象業務は後述）実施時に貨物到着後の申請（申請種別：到着後）を自動起動させるようにしてほしい。</p> <p>理由：貨物到着前に申請を実施している場合、貨物到着後に再度「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務を実施し、申請種別を変更する必要があるため。</p>
3. 次期仕様	○ 「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務において、「申請種別：到着前（B）」かつ「入庫情報受入：あり（Y）」が入力されている場合、貨物の搬入確認登録業務実施時に、「申請種別：到着後（A）」として「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務を自動起動する。

2. 【現行】「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における到着前申請に対する自動起動化



3. 【次期】「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における到着前申請に対する自動起動化



輸入畜産物検査申請の自動起動の契機となる代表的な搬入確認登録業務は以下のとおり。

海上

「船卸確認登録（一括）（PKI）」業務、「船卸確認登録（個別）（PKK）」業務、「CY搬入確認登録（CYA）」業務等

航空

「貨物確認情報登録（PKG）」業務、「混載貨物確認情報登録（HPK）」業務等

4. 【次期】「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務における到着前申請に対する自動起動化

自動起動化させるためには、以下の入力を行う。

輸入畜産物検査申請（ILA 応答画面（ILC））

The screenshot shows the ILC application form with the following fields highlighted by red dashed boxes:

- 申請種別: B
- 入庫状況確認: Y

Other visible fields include: 申請番号 (17080458), 共通番号 (Y 1000010905), 申請者氏名 (IAACC NAME), 申請者住所 (IAACC ADDRESS), 保管場所 (TAD42 3CY-DAL1C2), 検査希望年月日 (20141202), 仕出地 (地域) (AU AUSTRALIA), 日/L番号 (BL 6400), 産前船(機)名 (TIGAL), 積込地 (USLA1 LOS ANGELES - CA), 取付港 (YOK YOKOHAMA - KANAGAWA), 積込年月日 (20141202), 到着年月日 (20141202), 積込地, 商標, Aコンテナ・封印 (YY), 出港予定の有無, 回送先の保管場所, 分割後申請, 凡通部備考, 荷受人コード (AA), 荷受人住所 (AAA AAAA).

輸入畜産物検査申請（ILC）

The screenshot shows the ILC application form with the following fields highlighted by red dashed boxes:

- 申請種別: B
- 入庫状況確認: Y

Other visible fields include: 申請番号 (17080458), Aコンテナ・封印 (YY), 入庫状況確認 (Y).

申請種別を「B：到着前」 入庫情報受入を「Y：あり」

自動起動させるための特別な種別や入力はありません。

輸入畜産物検査申請情報として登録したB/L番号に対して、貨物の搬入確認登録業務が実施された場合には、貨物到着後の申請（申請種別：到着後）として「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務が自動起動されます。

なお、従来どおり貨物の搬入確認登録業務実施前に手動で貨物到着後の申請（申請種別：到着後）として「輸入畜産物検査申請（ILC）」業務を実施することも可能です。